

# 20歳のつどい実行委員の皆さんへインタビュー

## ～子どもの頃にこの町で過ごした思い出と目標や夢は何ですか～

今までたくさんの人に支えてきてもらい、大変な事も乗り越えることができました。これから20歳の自覚をもって、周りの人への感謝を忘れず素敵な大人になれるように成長していきたいと思っています。



坂本 秋音さん

私は愛荘町での思い出がたくさんあります。自転車だけでいろんなところに行ったり、友達の家で集まって遊んだり、すごく楽しかったです。私は今子どもがいて家族を持っています。家族を一番に考えて大切に、ずっと幸せに暮らしたいです。



山本 萌結さん

これからは大人としての自覚を持ち、今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、今度は自分が誰かの支えになりたいです。地元を離れても、これまで出会った仲間を大切に、自分の目標に向かって、ひたむきに努力していきたいと思っています。



川口 智也さん

愛荘町での思い出は学生生活です。今でも連絡をとったり遊んだりできる友人たちに出会えたことがとても嬉しいです。将来は周りの人を大切にできる器の大きな大人になりたいです！



小林 優斗さん

私がこの町で楽しかった思い出は、冬に雪が積もったら友達と雪合戦をしたり、放課後公園で語り合ったりしたことです。私の将来の夢は自分のアイサロンを開くことです。お客様にたくさんの笑顔届けられるように頑張っていきたいです。



中井 優那さん

小中学校を共に過ごしたみんなと20歳のつどいを迎えられるのが本当に良かったです！大好きなみんなとおじいちゃんおばあちゃんになっても仲良くしたいし、自慢の地元です！大人の一人になった自覚を常に持ち、誰かの目標にされる人を目指し頑張ります！



平居 颯真さん

私の愛荘町での思い出は、地域のイベントに参加したり友達と遊んだりしたことです。将来のことは今考えている途中ですが、夢架橋で海外に挑戦させてもらった経験を活かし、外国とも繋がれるような生活を送りたいと考えています。



村川 澄伶さん

20歳という大きな節目を迎えることができ、家族、友達、関わってくださった皆さんにはとても感謝しています。これまで家族には、ほんとにたくさんの迷惑をかけてきたので、これからは感謝の気持ちを伝え、恩返しをしていきたいです。



今村 珠梨さん

僕の愛知川での思い出は、中宿の公園でやっていた缶蹴りです。遊具や木々をうまく使って缶蹴りをしていたことがとってもいい思い出です。鍼灸師になるという将来の夢を叶え、皆様に恩返しできるよう頑張ります！



安福 大晟さん

この町を友達と駆け回り、くだらないことに熱中した日々が今では懐かしい思い出です。20歳という節目の歳を迎えた今、まだ明確な目標はありませんが、先が見えない未来に向かって着実に進んでいきたいです。



森野 太晴さん

私の愛荘町での思い出は、放課後に暗くなるまでみんなで鬼ごっこをしたことです。そんなみんなと20歳のつどいを迎えることができとても嬉しいです。これからもみんなと楽しい思い出を作っていきたいです。



森 涼葉さん

無事20歳を迎えることができとても嬉しいです。ここまで支えてくれた家族や友達、この町には感謝の気持ちでいっぱいです。来年度からは東京で就職することが決まっているので、より一層大人としての自覚を持ち日々精進していきたいと思っています。



小林 優望さん